

## 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	BSC -基礎と応用	科目区分	上級	時間	90分	回数	--
担当講師	産業医科大学病院 本野勝己						

### 講義概要

バランススコアカード（BSC）は1992年に経営評価のためにR,S,キャプランとD,P,ノートンによって開発されました。日本での医療経営への応用は2003年に「日本医療バランスト・スコアカード研究学会」が創設され、抜本的な経営改革を実現する経営マネジメントシステムとして、多くの医療施設に採用されています。BSCとは組織のビジョンと経営戦略を「財務」「顧客」「内部プロセス」「イノベーションと学習」の4つの視点から具体的な目標値とアクションプランを設定し、その進捗状況を管理・評価するフレームワークです。BSCを導入することで、その組織のビジョンが具体的に共有できるため、部・科・チームごとに目標とアクションプランを落とし込むことができます。

BSCを作成するポイントは、具体的な数値を可視化することにあります。外部及び内部環境を数値的なベンチマークを行うことで、組織全体が納得できる戦略を立案することが可能です。診療情報管理士は医療情報のマネジメント職として、各部署からのリクエストに応じたデータ抽出と分析を提示しながら目標設定やアクションプランに対して適切なアドバイスを行うため、BSCの仕組みをきちんと理解する必要があります。BSCは所属を超えたコミュニケーションツールとして「質の高い医療サービス提供体制」実現のための「医療の質」・「経営の質」両面のバランスがとれた経営改革や業務改善を推進することが可能となります。

### 講義の目標

バランススコアカード（BSC）の基本を理解し、医療組織に応用できる。

内部環境と外部環境の分析方法について、データの生成及び収集方法と加工方法について理解できる。

SWOT分析と戦略マップについて理解できる。

組織の意思決定のために情報を収集・加工して、経営陣に提示することができる。

### 講義内容

BSCの作成手順

バランススコアカードとは

SWOT分析とは

戦略マップとは

スコアカードとは

アクションプランと事後評価

演習

## 生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	コミュニケーションスキル	科目区分		時間		回数	
担当講師	久保 博文	上級		90分		--	

### 講義概要

診療情報管理士に求められるスキル・資質として、医学的専門知識や情報を管理する正確性と責任感等と共にコミュニケーション力も記載されている事をよく見かける。日本診療情報管理学会の学生セッションにおいてもコーディングやがん登録、分析力と並びコミュニケーション力が登場している。

診療情報管理士は、医師や看護師をはじめ病院内の様々な職種と連携する必要があるため、意思疎通を図ることや、自分の意図を相手に分かりやすく説明する力、相手の言うことを理解するコミュニケーション力が大切である。また、自身のキャリアの変化により上司・先輩、後輩・部下とのコミュニケーション力も必要となる。

そこで診療情報管理士育成カリキュラムにないが、コミュニケーションについて学ぶ機会を単元として設定した。

### 講義の目標

- ・コミュニケーションに関する基本的な知識や理論とともに、コミュニケーション・スキルに関する知見を概観する。
- ・コミュニケーションに関する知識を深め業務に活かすヒントとする。

### 講義内容

1. コミュニケーションとは

2. コミュニケーションに影響する要因

3. 相手を知る、自分を知る

4. コミュニケーションスキル